

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP六甲V	階数	地上4F
建設地	兵庫県神戸市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年11月6日
敷地面積	5,000 m <sup>2</sup>	作成者	東亜建設工業株式会社一級建築事務所 筒井 英雄
建築面積	2,551 m <sup>2</sup>	確認日	2023/11/30
延床面積	10,151 m <sup>2</sup>	確認者	JA三井リース建物株式会社 代表取締役社長 工藤 真樹

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 82%  
③上記+②以外の 82%  
④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	対象外。	Q2 サービス性能 日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。給水VLP(B)、排水VP(B)、給湯SUS(C)、Eは不利用。階高:3.9m以上。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし。
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.54。BEI <sub>m</sub> =0.62。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が82%。燃焼機器を使用していない。光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される